

第3回おおさかカーボンニュートラル推進本部会議 議事概要

■日 時： 令和5年7月21日(金) 11時30分から12時00分まで

■場 所： 大阪府庁本館

■出席者： 知事、副知事、各部局長等

■議事概要

◇吉村知事

- ・2050年カーボンニュートラルというのが大阪府の方針であり、全国的に国を挙げての目標。そして、2025年の大阪関西万博もカーボンニュートラルを実現する社会を目指すということが一つのテーマになっている。今後、気候変動対策として、世界を見渡した時、世界全体が目指していく目標だと思う。
- ・これを進めていくために、わが国においても様々な企業の取組みであったり、大阪府における在阪企業の水素やエネルギーに関してであったり、色んなチャレンジが加速化している。とりわけ、2025年に大阪関西万博をするということで、カーボンニュートラルに向けて、大企業や中小企業が意欲的なチャレンジを出しているところ。
- ・その中で、前回の第2回のカーボンニュートラル推進本部会議では、脱炭素化に向けたロードマップを実効性のあるものにしていくということを定めて、具体的に必要なものを指示した。今回の会議では、事務局から検討結果を示してもらいたい。
- ・また、とりわけ進めてもらいたいのが府立高校あるいは警察署の建替えにおけるZEB化について。府有建築物をゼロエネルギー化していくZEB化、ここは非常に重要で象徴的なものだと思う。全庁的な方針の決定をしたい。これはもちろんコストのことを考えなければならない。コストを考えた上で成り立つのかということも考えながら、府有建築物をいかにゼロエネルギー化、ZEB化を進めていくのかということが重要。ぜひその方向性についても今回の会議で決定したい。

◇事務局より資料1「これまでの検討状況と今後の方向性について」、資料2「府有建築物の新築（建替えを含む）におけるZEB化について」、資料3「その他」に沿って説明

<出席者の発言>

◇原田環境農林水産部長

- ・資料1のP.6にある通り、主な取組みによる目標削減量を示させていただいた。大規模事業者のアプローチ、これが大きな量となっている。
- ・大規模事業者、府内800社あるが、温室効果ガスの排出量では、産業部門においては約8割、業務部門においては約4割を占めている。このようなことを受け、当部では気候変動対策条例を改正し、今年度から大規模事業者のCO₂削減計画の目標削減量を1.5倍とするなど、対策を強化した。

- ・また、中小事業者に対しては、省エネ支援と併せて、脱炭素経営宣言をしていただく仕組みを整えた。途中で説明があったが、4月に登録を開始して、今すでに1100社を超えている状況。この制度の広報・PRに関しては、商工労働部にお世話になり、感謝申し上げます。今後、2025年2025社を目指して頑張っていきたいと思う。
- ・ZEB化の方針の検討にあたっては、財務部はもとより、都市整備部、教育庁、府警本部に多大なご協力をいただき感謝申し上げます。本日、方針を決定いただきたい。
- ・また、既存建築物の改修にあたってのZEB化の可能性調査も民間企業と連携して進めているので引き続き協力をお願いしたい。
- ・府民の脱炭素に向けた行動変容については、CO₂排出量を見える化する仕組みである「カーボンフットプリント」の取り組みを進めている。昨年度は農産物で実施したが、今年度は衣料品等、食品等につきまして対象品目を拡大し、万博の機会も活用しながらしっかりと実現していきたい。
- ・また、職員自らの脱炭素の率先取り組みについて、これまでの各所属には環境マネジメントシステム（EMS）の仕組みで様々な取り組み（コピー用紙の削減、電気の消灯など）を実践いただいているが、一人一人の職員に浸透していくことが重要と考えている。
- ・どのようにすれば職員にとっても、過度な負担にならず、取り組みやすいのかを、今年度は当部において徹底的に検証していきたいと思っている。来年度はそのノウハウを全庁的に展開していきたいと考えているので、各部局長におかれてもご協力よろしくお願ひしたい。

◇橋本教育長

府有建築物のZEB化の方針について、昨年この会議でお願いした。今年、寝屋川高校の基本設計に入る。本日この方針を決めていただいて、その方針のもと、基本設計を進めていきたい。

◇谷口都市整備部長

本日、ZEB化推進方針をとりまとめいただいた後、実際、府有建築物の環境配慮を具体的にどうしていくかという取り組みをまとめている。環境配慮指針も速やかに改定したいと思っている。

◇金森財務部長

寝屋川高校はぜひZEB化と思っている。それ以外もこの方針で進めるということで、実務的にも了解している。公共建築室所管の都市整備部長に次のことをお願いしたい。平均すると約1割、ZEB化に費用がかかる。それが大体70年で回収できるものは基本的にこの方針でいくことになっているが、自動的に1割の建設工事費用をとれるという理解はやめてほしい。出来るだけ削れるようなところがあれば、その工夫をしていただきながら、抑制する中で回収出来ればZEB化という方針は守るが、ZEB化するから当然費用が上がることを是とするというわけではない。引き続き厳しい状況がある中で、公共建

築室としても知恵出して工夫していただく中で、より多くの施設が ZEB Ready になるようにご協力いただきたい。

◇谷口都市整備部長

今年度基本設計を予定している寝屋川高校について、全て増額するというのではなく、出来る中で知恵を出しながらどういったことが出来るのか具体的に考えて、そこで相談させていただければと思っている。

◇山口副知事

万博があるので、万博 2025 年ということで非常にこだわりたいところ。このような対策をやって、万博のとき 2013 年度比どのくらい削減できるのか。数字は色々記載されているが、何パーセント比なのか。

◇事務局

最新 2020 年度の排出量で 4300 万トンくらい。その数字というのは、2013 年度比で 21.8% くらいの削減となっている。今の削減量としては順調にきていると考えているが、ここからが厳しい道ということもあるので、さらに省エネや省 CO₂を進めていかなければならないという認識。

◇山口副知事

万博のときにはもう少し減らせるということか。

◇事務局

そう。

◇山口副知事

これは都市間で比較はしているのか。都市によって排出量がどのくらい削減されているか等のデータは出ていないのか。

◇事務局

現状どこかの都市と比較して大阪がどうなのかといったところを直接的に調べてはいないが、都道府県ごとに数字は出しており比較は可能。見比べていきたい。

◇山口副知事

万博のときに、日本でナンバーワンに減らしているとか、世界の中で先進的な取組みをやっていることを目指してほしいと個人的に思っている。それでこのやり方をやって達成可能なかどうか検討してほしい。

◇原田環境農林水産部長

都道府県で比較することと、削減幅をPRするなど色々な方法があると思うので、今後検討していく。

◇山口副知事

過度な競争を煽っているわけではないが、全体での大阪の取組みは、一番分かりやすいのはどれだけ削減したかということ伝えることだと思う。そのもとで、府民や事業者が「我々の行動がこれだけ削減に繋がっていく」という認識に繋がると思うので、そこは検討していただければ。

◇事務局

議題2資料P.14にあるZEB化の推進方針案については、この内容で決定とさせていただく。

◇吉村知事

- ・カーボンニュートラルを進めていく上で、実際に数字を見ると大企業の割合が非常に多いので、大企業をどうするかということが当然目標になっているし重要だと思うが、大企業も結局、人が運営しているので、社会の方向性としてこっちに向かうんだということが重要。例えば、大阪府の府立高校・寝屋川高校もネット・ゼロ・エネルギー・ビルの方向を目指すということが非常に重要だと思う。そこから得られるCO₂排出量のエネルギー効率効果は、府全体で見れば少ないかもしれないが、そういったことを府立高校でやるんだという意思を明確に示す、そういったことで社会全体がそっちの方向に進んでいくことを示す、これが非常に重要。府有建築物、今回は寝屋川高校を今年度からということだが、新築の府立高校であったり警察署であったり、建替え・新築についてもゼロエネルギーを目指す、これからそちらの方向に進んでいく、カーボンニュートラルを目指すということを明確に示していきたい。そして、その熱を伝播させていきたい。
- ・CFP（カーボンフットプリント）とか、CO₂排出量の見える化。スーパーでこの食材がこれくらいCO₂排出しているのか、それが目につくようになっていけば、それ1つの量はそんなに多くはないかもしれないが、消費者がこっち側を選ぶようになってくると、大企業も「わが社もそっちの方向に進まないといけない。ビジネスがそっちの方に向いてる」となってくるのが重要。それぞれの数字を見るとほとんど大企業のところだが、細かなところでもカーボンニュートラルを目指していこうという意識を強くするための政策は、ぜひ力を入れてやってもらいたい。
- ・もう一つ大事なものはロードマップ。まずは2025年の大阪関西万博がある。万博でカーボンニュートラルを目指すのに色々なエネルギー、CO₂削減に関しての技術が出てくるので、社会の方向性をそちらに持っていくというのが非常に重要。その万博までにどういったことを進めるか、万博にどういったことを披露するのか、万博をどんなレガシーにしていくのか、ここについてももしっかり整理してメリハリをつけて着実に進めてもらい

たい。カーボンニュートラルそのものは 2050 年だから長期にわたる視点で、中間の目標値も作ってくれているが、やはりまず万博というのをきっしょとして、万博の時までにこういった技術でこういったカーボンニュートラルな社会を目指していこうというのを世に示して行って、それを未来社会に繋げて、カーボンニュートラルを目指していく。

・また、学校や警察、府有建築物については財務部長からもあった通り、知恵を出しながらやってもらいたい。そうすることが持続可能な、次の ZEB 化の建物に実務としては繋がってくる、広がってくると思うので、財務部ともよく協議もしながら、方向性を示すということを確認にしてやりたい。